

千葉商科大学 プレスリリース

千葉商科大学メガソーラー野田発電所のFIT電気を大学へ供給 市川キャンパス、使用電力を再エネに切り替え ー電力、調達でも自然エネルギー100%へー

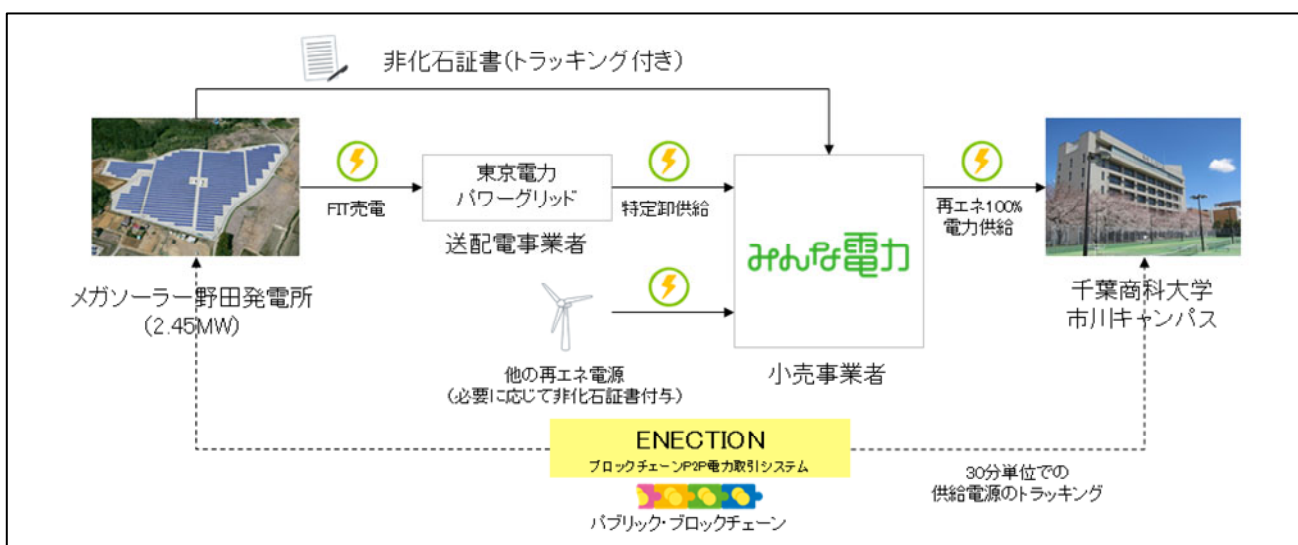
千葉商科大学(学長：原科幸彦、千葉県市川市)は、みんな電力株式会社(代表取締役：大石英司)を通じて、市川キャンパスで使用する電力を、2019年8月1日より順次、再生可能エネルギー由来の電力に切替えます。

具体的には、本学が千葉県野田市に所有するメガソーラー野田発電所のFIT電気を中心とした再生可能エネルギーの利用を図ります。これにより市川キャンパスで購入する電力は再生可能エネルギー率100%になります。

本学は、地球温暖化対策等の環境保全に貢献するため、日本初の「自然エネルギー100%大学」をめざしています。持続可能な社会づくりのためには、社会の各主体が消費するエネルギーは再生可能エネルギーによって自ら創出することが必要だと考え、2014年からメガソーラー野田発電所を稼働しました。これは、国連のSDGs(持続可能な開発目標)の12番「つくる責任つかう責任」のエネルギーにおける実践です。

その後、2017年11月にメガソーラー野田発電所を中心とした本学所有の太陽光発電設備での発電量と、大学の消費エネルギーの総量を同量にする環境目標を宣言。2019年1月には発電量が消費電力量を上回り、電力生産での100%を達成しました。2020年度には、ガスを含めたすべての消費エネルギーに相当する発電を行うことを目標に掲げて、全学で取り組んでいます。

【メガソーラー野田発電所のFIT電気を中心とした再生可能エネルギーの利用】



- メガソーラー野田発電所のFIT電気を東京電力パワーグリッドを通じて、みんな電力に特定卸供給。
- みんな電力のブロックチェーンP2P電力トレーサビリティシステムを利用することで、メガソーラー野田発電所のFIT電気を、本学市川キャンパスに供給することが証明可能になる。電力の不足分は、他のFIT電気や再生可能エネルギー電力(風力、バイオマス等)により補充し、さらに、トラッキング付き非化石証書により、再生可能エネルギー利用率100%を実現する。

<プレスリリースに関するお問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター

〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1 [Tel] 047-373-9968 [E-mail] p-info@cuc.ac.jp



千葉商科大学

www.cuc.ac.jp